

教科	科目	学年	単位数
公民	政治・経済	3 年 (一貫探究文系, 探究文系)	4
使用教科書		副教材	
『最新 政治・経済 』(実教出版)		『 最新図説 政経 』(浜島書店) 『 共通テスト実力トレーニング 』(啓隆社)	

1. 学習到達目標

- ① 社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手がかりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。
- ② 国家および社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や、政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身につけた判断基準を根拠に社会の在り方などについて構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。
- ③ よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、日本および国際社会において国家および社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。

2. 評価

- ① 年3回の定期テスト
- ② 小テストやノート・プリント等の提出物の内容
- ③ 学習活動の参加状況（授業中の態度・発言内容・作業への取り組みなど）

※細かな評価は下記参照のこと。

a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手がかりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	合意形成や社会参画に向け、国家および社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題について考察し、説明するとともに、身につけた判断基準を根拠に構想したり、社会の在り方などについて構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断したり、表現したりしている。	よりよい社会の実現のために、国民主権を担う公民として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。また、知識および技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身につけたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。また、粘り強い取り組みを行うなかで、自らの学習を調整しようとしている。

3. 学習内容

学期	月	単元・試験	授業内容（教科書）	その他（到達目標・学習のポイントなど）
1 学 期	4	第2編 グローバル化する国際社会 第1章 現代の国際政治	国際政治の特質・国際社会と国際法・国際連合の役割と課題 戦後国際関係の展開と日本・冷戦後の国際関係と日本・地域主義の動き・軍縮の動向と課題・紛争・難民・テロリズム・国際社会における日本の役割	「公共」の学習をもとに、現代の国際政治の特質と課題について学ぶ。
	5	1節 国際政治のしくみ 2節 複雑化する国際政治と日本		
	6	第2章 現代の国際経済 1節 国民経済と国際経済 2節 世界経済の現状と課題 《定期試験》		
	7	第3章 国際社会の諸課題		
	8			
2 学 期	9	第1編 現代日本の政治と経済 第1章 現代日本の政治	民主政治の成立・法と民主政治・基本的人権の確立・現代の民主政治・世界のおもな政治体制・日本国憲法の制定と基本原理・基本的人権の保障・平和主義・国会と立法・内閣と行政・裁判所と司法・地方自治・戦後政治と政党・選挙と政治意識・世論と政治参加	「公共」の学習をもとに、国内政治の原理について深める。
		1節 民主政治の基本原則 2節 日本国憲法の基本原理 3節 日本の政治機構 4節 現代政治の特質と課題		
	10	《中間試験》		
		第2章 現代日本の経済 1節 現代の資本主義経済 2節 現代経済のしくみ 3節 日本経済の発展と現状 4節 福祉社会と日本経済の課題		
	11	3章 現代日本の諸課題 《期末試験》		
	12			
3 学 期	1		問題演習	

4. その他（科目の特徴や学習の注意点など）

- ① 第1編「現代日本の政治と経済」では、現代日本の政治・経済に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論について学習する。第1章・第2章で概念や理論について学んだうえで、第3章でそれを活用して現代日本の諸課題を探究する活動を行う。
- ② 第2編「グローバル化する国際社会」では、国際政治・経済に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論について学習する。第1章・第2章で概念や理論について学んだうえで、第3章でそれを活用して国際社会の諸課題を探究する活動を行う。「政治・経済」は「公共」の学習のうえに成り立つ科目であるため、学習全体を通して「公共」との関連を図る。
- ③ これらの学習を通じて、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することをめざす。
- ④ 学習内容の順番は、生徒の現状等に応じて変更することもある。
- ⑤ 時事問題についての深い学習や「公共」における「公共の扉」についての復習も行う。